

補聴器をうまく使うために

病気や加齢で聞こえが悪く

なり、日常生活に不自由を感じるようになったときに補聴器の使用を考える人が多いと思います。しかし、補聴器を試してみたがうまくいかなかったということをよく耳にします。今回は補聴器を合わせるための方法について紹介します。

まず、現在の聞こえ方（聴力）がどの程度かを調べる前に、耳あかがたまっていないか、治療すべき耳の病気がないかなどを確認する必要があります。その後、標準純音聴力検査という検査で左右の聴力を測ります。さらに左右のことばの聞き取り方を調べる検査（語音明瞭度検査）を行います。これらの検査で補聴器をつけたときの効果が予想で

きます。

続いて実際に補聴器を試す段階となります。初めのうちは、補聴器をつけていることや、これまで聞こえていなかった音が聞こえるのを不快に感じることもあり、この段階で使用するあきらめてしまう人も多いようですが、実際の生活で使用してみて細かく調整し、より良い状態に合わせっていきます。購入後も定期的な点検と調整をしてもらいましょう。また、周りの人の配慮も大切です。補聴器をつけている人と話すときには、ゆっくりと話しかけてください。

補聴器の使用を考えている人は一度近くの補聴器相談医に相談してください。